

# 新年のご挨拶



全国水土里ネット会長会議顧問  
参議院議員

進藤 金日子

新年、明けましておめでとうございます。旧年中は、秋田県の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。本年も何卒宜しくお願い致します。

私も皆様にご支援をいただき国政に送り出していただいてから、早5年半が過ぎました。土地改良予算の動向を報告し、私なりの政治スタイルを再確認しながら次のステップを展望してみたいと思います。

昨年末には、令和3年度補正予算が臨時国会において可決、成立しました。土地改良予算は、総額1,832億円（TPP等対策：774億円、米対策：46億円、国土強靱化5か年加速化対策：1,012億円）です。令和4年度当初予算政府原案での土地改良予算は4,468億円（令和4年度からデジタル庁計上となる政府情報システム予算を含む。）であり、令和4年度の予算額は補正と当初を合わせて6,300億円となり、本年度と同水準の予算が確保できる見通しとなりました。

主な事業制度の新規・拡充事項としては、①農家負担がゼロの「農地中間管理機構関連農地整備事業」の工種に農業水利施設や農道、暗渠排水等を追加（現在は区画整理と農地造成のみ）、②「農地耕作条件改善事業」の助成対象に田んぼダム導入に係る調整活動や畦畔補強等とともに除草機器を追加、③省エネ化・再エネ利用に取り組む「かんがい排水事業」の事業費要件や末端要件を緩和、④「土地改良施設維持管理適正化事業」に「防災減災機能等強化対策」（防災・減災機能の強化、施設管理の省エネ・再エネ利用や省力化を図るための施設整備）を新設（国費率を従来の30%から50%に嵩上げ）、⑤「土地改良区体制強化事業」の助成対象に小規模土地改良区の業務再編を追加することなどが挙げられます。

私は、これまで全国津々浦々を訪問し、現場の実情を視て、現場の声を聴いて、それらを国政の場に届け、課題解決の実現に努めて参りました。私自身、現場目線、国民目線での政治こそが、いま強く求められていると痛感しています。こうした活動が事業制度の新規・拡充要求に繋がっているものと確信しています。秋田県内にも度々訪問し、色々なご指摘や多くの要請をいただきました。こうした現場の声を真摯にお聴きし、改善できるものはすぐに改善し、事業制度の新規・拡充に繋げる必要があるものは次年度の予算要求に反映できるように更に努力して参ります。

全国各地の農業・農村は多様であり、それ故に各種要請の内容も多様です。引き続き同志の宮崎雅夫議員と力を合わせ、必要な予算の確保とともに、現場の課題解決に直結する制度構築等に全力で取り組んで参ります。今後とも、これまでの政治スタイルとスタンスを変えることなく、泥臭く鈍重でも、急峻な斜面を一步一步踏み締めて前進する牛のように精進し、現場が抱えている課題を一つでも多く解決できるように結果を出して参る所存です。

皆様からお預かりした参議院議員の任期も残すところ7か月余りとなりましたが、まずは貴重な任期を一日たりとも無駄にすることなく政治活動に全力投球して参ります。そして、次のステップに進むためには改選という高く厚い壁を超えなければなりません。私自身、この壁の突破に専心努力して参る覚悟ですので、皆様の引き続きのご指導とご支援を心からお願い申し上げます。皆様の益々のご健勝とご活躍を心からお祈りいたしております。

# 新年ご挨拶



農林水産大臣政務官  
参議院議員

宮崎 雅夫

秋田県土地改良事業団体連合会会員各位ならびに関係の皆様  
に謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は多大なるご支  
援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

昨年10月に発足した岸田内閣ならびに11月発足の第二次岸田内  
閣において、農林水産大臣政務官を拝命いたしました。これも  
偏に秋田県の皆様ならびに、進藤金日子参議院議員はじめ先輩  
国会議員のご指導とご支援によるものであり、本年も新たな気  
持ちで現場主義に徹しつつ皆様のご意見をお伺いしながら一層  
努力して参る所存ですので、引き続きご指導くださいますよう  
お願いいたします。

さて、ここ2年に亘って農林水産業はじめ各方面に影響を及ぼ  
してきた新型コロナウイルス感染症は、国民の皆様のご協力に  
より、昨秋以降の新規感染者数は低位に推移していますが、新たな変異株による感染拡大も懸念される  
昨今の状況からは決して油断することはできません。

経済安全保障の重要性が叫ばれる中、食料の多くを輸入に頼る我が国にとって食料安全保障の確立は  
重要であり、そのためには我が国の農林水産業の持続的発展が不可欠です。

こうした中、昨年末には、令和4年度当初予算案が閣議決定されるとともに、臨時国会において令和3  
年度第1次補正予算が成立し、農業農村整備事業関連予算として合計6,300億円を確保することができま  
した。

このうち、令和4年度当初予算においては、前年度の当初予算を上回る4,468億円を確保し、農地の大  
区画等の推進、水利施設・ため池等の老朽化対策や流域治水などの防災・減災、国土強靱化対策等を推  
進することとしています。また、令和3年度補正予算では、TPP対策や防災・減災、国土強靱化対策の加  
速化に必要な1,832億円が計上されており、全国の皆様のご要望にしっかりとお応えできる規模となっ  
ています。

また、これから国会で議論される令和4年度当初予算に関連して、土地改良法の改正を検討することと  
しており、主な事項としては、ため池等の急施の防災事業に豪雨対策を追加すること、農地中間管理機  
構関連農地整備事業の対象工種に農業用水路等を追加すること、市町村や土地改良区による防災対策事  
業の機動的実施ため、土地改良事業団体連合会による技術的支援等を可能とすること、また、組織の維  
持が困難となった小規模土地改良区について、法人格を維持しながら認可地縁団体等に移行できる手続  
きを既定するなどが予定されています。予算と制度が車の両輪となって土地改良の効果が確実に発現で  
きるよう、引き続き進藤金日子議員とともに頑張る所存です。

これからも皆様とともに土地改良を推進するため、もう一つの大切な車の両輪である秋田県出身の進  
藤金日子議員と一緒に国政で取り組んで行けるよう、秋田県の皆様に格段のご支援をお願い申し上げま  
す。

結びに、本年が皆様お一人おひとりご家族にとって素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げま  
して、新年の挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願いいたします。

# 農業農村整備の集い

～農を守り、地方を創る予算の確保に向けて～



会場の様子

11月16日(火) 砂防会館別館「シェーンパッハ・サボー」で、令和4年度当初予算の確保に向けた「農業農村整備の集い」が開催され、全国から土地改良関係者が約600名参加した。

始めに二階俊博全土連会長が「農家の方々が期待を持って働けるような環境をつくるため、我々は一致団結して闘っていかねばならない。来年度の土地改良予算を地元の要望に応える規模で確保できるよう、しっかりと活動を展開していくことが重要である。『闘う土地改良』は今後も限りなく続く。皆さんの更なるご尽力をお願いしたい」と挨拶を述べた。

ご臨席の金子原二郎農林水産大臣、自民党の森山裕TPP・日EU・日米TAG等経済協定対策本部長、公明党の石井啓一幹事長、進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問からの力強いご祝辞をいただくとともに、多くの国会議員の皆様へ駆け付けていただいた。

また、土地改良における男女共同参画を先駆的に実践した、故藤井チエ子(山口県土連理事、やまぐち水土里ネット女性の会会長)、奥村千扶子(大島堰土地改良区理事長)の両氏に、二階会長から感謝状が授与された。

その後、要請案文の朗読と採択が行われ、最後の「ガンパロウ三唱」では、男女共同参画の趣旨を踏まえ、加藤理恵(あいち水土里ネット女性の会会長)、斎藤富子(やまぐち水土里ネット女性の会会長)、松野弘宗(水土里ネット北海道・全土連出向中)の男女3氏による力強い“ガンパロウ”の発声と盛大な拍手をもって閉会し、各都道府県、ブロック別に関係省庁への要請活動が行われた。



二階全土連会長



進藤参議院議員

## 農業農村整備関係予算の確保、東日本大震災からの再生・復興について

### 東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会が要請活動

東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会(会長：高貝久遠秋田県土連会長)は、11月26日(金)に金子原二郎農林水産大臣、藤原崇財務大臣政務官、富樫博之復興副大臣へ、土地改良事業の令和4年度当初予算及び令和3年度補正予算、復旧・復興事業予算の要請活動を行った。



金子農林水産大臣への要請活動



藤原財務大臣政務官への要請活動



富樫復興副大臣への要請活動

# 令和4年度農業農村整備事業関係予算

## 概算決定の概要

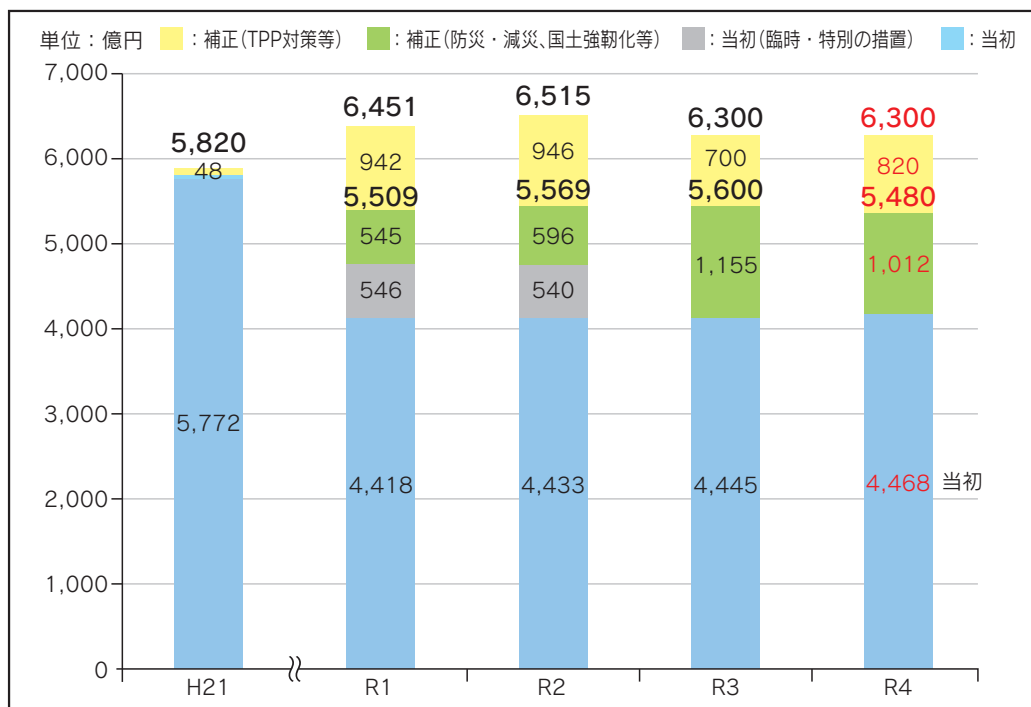
令和4年度農林水産予算について、12月24日に下記の内容が閣議決定された。

(単位：億円)

区 分	4年度 概算決定額 A	3年度 補正額 B	合 計 A + B	【参考】		
				3年度 予算額 A'	2年度 補正額 B'	合 計 A'+B'
農業農村整備事業(公共)	3,322 (100.1%)	-	3,322	3,317	-	3,317
農地耕作条件改善事業	248 (100.0%)	-	248	248	-	248
農業水路等長寿命化・防災減災事業	254 (98.4%)	-	254	258	-	258
農山漁村振興交付金	38	-	38	12	-	12
農山漁村地域整備交付金(公共)(農業農村整備分)	591 (99.3%)	-	591	595	-	595
政府情報システム予算	15	-	15	15	-	15
T P P等関連農業農村整備対策	-	774	774	-	700	700
米の臨時特別対策	-	46	46	-	0	0
防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策	-	1,012	1,012	-	1,155	1,155
計	4,468	1,832	6,300	4,445	1,854	6,300

(注) 1. 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。  
2. 下段( )書きは、令和3年度予算額との比率である。

## 農業農村整備事業関係予算(当初及び補正)の推移



### <注目事項>

- 農業農村整備予算は4,468億円を計上。令和3年度補正予算と合わせて6,300億円となる。
- 平成22年度大幅削減となった農業農村整備予算が削減前の平成21年度当初予算を大幅に超える額となった。